

I 実践

1 研究主題

他人への思いやりと感謝の心を育てるとともに差別や偏見をもたない児童の育成

(1) 主題設定の理由

児童は、多くの人たちと関わり合いながら学校生活を送っている。そして、互いに助け合い、認め合い、支え合う温かい人間関係が育ってきている。そこで、日常生活や体験活動を通して、差別や偏見の心を持たない、人を思いやる優しい気持ちが自然に出てくる児童を育てていきたいと考え本主題を設定した。

(2) 研究の内容

- ア 豊かな体験活動の展開
- イ 人権に関する啓発活動の充実
- ウ 人権意識を高めるための職員研修の充実

2 実践内容

(1) 豊かな体験活動の展開

ア 久慈川菜の花エコネットワーク推進事業への参加

今年度も地域を愛する心や態度を育てるために、地域と日立市の共催事業「久慈川菜の花エコネットワーク推進事業」に全校児童で参加し、取り組んできた。

特に、今年度は震災にも負けず咲いた菜の花を見たこともあり、10月の菜の花の種まきや12月の除草作業に児童たちは熱心に取り組み、地域を愛する心の育成が図られた。



菜の花の種をまく様子(10月)

イ 地域との交流（高齢者との会食交流会、地域人材を生かした体験学習、運動会、三世代交流会）

本校では、児童たちが地域の方とふれ合う機会が多く設定されている行事が多い。なかでも、地域の高齢者との交流会(3～5年)や地域の人材を生かした体験学習(全学年)、運動会(全学年)、三世代交流会(全学年)では、地域と連携を深めながら取り組んだ。児童たちは積極的に地域の方に語りかけていた。

特に、地域の人材を生かした陶芸体験学習は今年度初めて実施したもので、地域の陶芸家を講師に招き、児童たちは陶芸作品作り(マグカップ等)に取り組んだ。



地域の高齢者との会食交流会(6月)



地域の陶芸家から学ぶ児童(7月)



地域とふれ合う運動会(10月)



三世代交流会でベーゴマを教えてもらう児童(11月)

ウ 異学年との交流活動（たてわり班の清掃活動等）

本校では、週に2回(水曜日・金曜日)の清掃活動をたてわり班で行っている。高学年の子は低学年の子の面倒をよくみている。また、東小沢っ子タイム(毎週火曜日、ロング昼休み)での集団遊びでも異学年交流が積極的に行われている。

エ あいさつ運動や募金活動

福祉委員会の児童が中心となって「朝のあいさつ運動」を毎週水曜日・金曜日に昇降口で実施した。また、赤い羽根や一円玉などの募金活動も進んでいった。

(2) 人権に関する啓発活動の充実

ア 「思いやりの標語」の作成について(6月)

全校児童一人一人が「思いやりの標語」を考えることを通して、相手を思いやる気持や態度を育てることをねらい、学年で最も良い標語を1点選び、校内に掲示し、児童の意識化が図られた。

イ 人権作品展(メッセージ・標語・ポスターなど)への取り組みについて(7～9月)

人権に関する本やビデオを視聴したり、人権に関する話し合いをもったりした。また、夏休みの課題として、学年や児童の実態に応じて人権作品に関する応募に積極的に呼びかけた。

ウ 人権教室(3年)の実施(11月)

11/17(木)の3校時に日立市人権擁護委員(2名)による「人権教室」(3年)が行われた。「いじめは絶対に許さない」という意識化が図られた。

(3) 人権意識を高めるための職員研修の充実

ア 全職員で取り組む校内研修等

校内研修の時間や児童の情報交換の中で、事例研修などを通して教職員の人権意識を高めるように取り組んでいる。

イ 年間指導計画の見直し

「人権教育に関わる年間指導計画」を学年ごとに検討している。特に女性、子ども、高齢者、障害者、同和問題、HIV感染者やハンセン病患者等の人権侵害の見直しを継続して行っている。

3 成 果

- (1) 地域との多くの交流や異学年交流を通して、好き嫌いとらわれずに、誰とでも公正・公平にふるまい、仲良く生活する態度を育てることができた。
- (2) 「久慈川菜の花エコネットワーク推進事業」や「あいさつ運動」などにみられるように、児童が自分たちの地域の一員であるという自覚を高めることができた。

II 今後の課題

- (1) 各教科や道徳の時間など学校教育全体を通して、人権に関する学習をよりいっそう充実させ、児童一人一人の人権意識のさらなる高揚を図るための取り組みを計画的・継続的に実践していきたい。
- (2) 児童が地域の一員であるという自覚をさらに高めていく手立てを意図的に展開していきたい。
- (3) 人権意識を高めるための職員研修を計画的・継続的に実施し、人権教育について共通の認識が持てるようにしていきたい。

III 人権コーナーの設置

本校では「人権コーナー」という名称では設置していないが、道徳的内容を含んだ「こころのまどコーナー」を設置している。そこで人権教育の啓発活動も行っている。

【昇降口に設置してある「こころのまどコーナー」】

学校行事に関して児童が励んだ事などを真や児童の文章などを活用し紹介している。

【学級に設置してある「こころのまどコーナー」】

道徳の授業などで学習した内容や体験活動の感想などを掲示している。友達の思いや考えの良さを理解できるようになっている。



児童の昇降口に掲示されている
「こころのまど」



掲示されている「こころのまど」